



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月14日

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7707 URL http://www.pss.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長 (氏名) 秋本 淳 TEL 047-303-4800
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,104	21.1	△193	—	△156	—	△163	—
26年6月期第1四半期	911	8.6	△132	—	△90	—	1,339	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △156百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 △929百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△8.94	—
26年6月期第1四半期	73.38	—

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	6,341	4,032	58.8	204.30
26年6月期	7,298	4,325	55.1	220.22

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 3,728百万円 26年6月期 4,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	7.5	7.5
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年6月期の連結業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	10.1	△300	—	△310	—	△320	—	△17.53
通期	4,500	14.7	△400	—	△420	—	△440	—	△24.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期1Q	18,252,000株	26年6月期	18,252,000株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	0株	26年6月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期1Q	18,252,000株	26年6月期1Q	18,252,000株

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 会社説明会を12月3日（水）に予定しております。詳しくは弊社ウェブサイト（<http://www.pss.co.jp>）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られた他、新興国の景気減速や円高は正効果の一巡などにより、景気は低迷いたしました。世界経済においては、依然として中東・ウクライナの情勢不安等があるものの、米国の景気回復や欧州経済の持ち直しなどにより、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、ラボ(研究室)自動化や臨床診断用の各種装置、それらに使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

これら製品は、ロシュグループ、キアゲングループ、アボットグループ、ライフテクノロジーズ社、(株)LSIメディエンスなどへのOEM販売(相手先ブランドによる販売)を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高1,104百万円(前年同期比21.1%増)、売上総利益374百万円(前年同期比21.2%増)となりました。アボットグループ向けに開発を進めてきた臨床診断用の検体前処理装置に関しては、開発が完了し、開発契約に基づく最終的な売上を計上いたしました。本製品に関しては、この第2四半期より発売開始に備えた製品機の出荷が開始される予定であります。その他、DNA自動抽出装置などの既存装置や試薬・消耗品なども順調に出荷できたことから、増収増益を確保いたしました。

一方で、この第2四半期での販売開始を目指している遺伝子診断装置「geneLEAD(ジーンリード)」に関する開発活動を中心として、研究開発費は240百万円(前年同期比127.2%増)と大きく増加いたしました。その結果、販売費及び一般管理費は568百万円(前年同期比28.7%増)となり、営業損失△193百万円(前年同期は営業損失△132百万円)となりました。その他、為替差益36百万円の発生などにより、経常損失△156百万円(前年同期は経常損失△90百万円)、四半期純損失△163百万円(前年同期は四半期純利益1,339百万円)となりました。なお、前年同期は、多額の特別利益(投資有価証券売却益)を計上しております。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシュグループ	345	37.9	291	26.4	△15.7	1,117	28.5
キアゲングループ	103	11.4	141	12.8	35.7	683	17.4
その他	461	50.7	671	60.8	45.5	2,120	54.1
合計	911	100.0	1,104	100.0	21.1	3,921	100.0

ロシュグループ向け販売は低調となりましたが、キアゲングループ向け販売は好調に推移いたしました。その他に関しましては、米国のナノストリング社が好調に推移した他、アボットグループ向けに開発を進めてきた臨床診断用の検体前処理装置に関して、開発が完了し、開発契約に基づく最終的な売上を計上したことなどから、大きく増収を確保いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。
(セグメント別売上高)

		前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
報告 セ グ メ ン ト	装置	546	60.0	672	60.9	22.9	2,320	59.2
	試薬・消耗品	221	24.3	275	24.9	24.3	978	24.9
	メンテナンス関連	75	8.2	85	7.7	13.3	300	7.7
	受託製造	66	7.3	71	6.5	7.1	315	8.0
	その他	1	0.2	—	—	—	6	0.2
	合計	911	100.0	1,104	100.0	21.1	3,921	100.0

① 装置

当第1四半期連結累計期間は、売上高672百万円（前年同期比22.9%増）となりました。一方で、営業費用は626百万円（前年同期比10.9%増）となり、営業利益45百万円（前年同期は営業損失△17百万円）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ（研究室）自動化装置

ロシユグループやキアゲングループに供給しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ（研究室）向けの各種自動化装置のことであり、195台の出荷により、売上高437百万円（前年同期比0.4%減）となりました。一方で、営業費用は410百万円（前年同期比3.4%減）となり、営業利益26百万円（前年同期比87.7%増）となりました。前年同期には、一部ロシユグループ向けに開発売上がありましたが、当第1四半期連結累計期間は、全て製品機の出荷となりました。

(b) 臨床診断装置

株LSIメディエンスに供給している免疫化学発光測定装置やアボットグループ向けに開発を進めてきた臨床診断用の検体前処理装置などの臨床分野向け装置のことであり、57台の出荷に開発売上也加え、売上高234百万円（前年同期比118.2%増）となりました。一方で、営業費用は215百万円（前年同期比54.5%増）となり、営業利益18百万円（前年同期は営業損失△32百万円）となりました。

② 試薬・消耗品

当区分は、自社ブランドのDNA抽出用の試薬や当社装置の使用に伴い消費される反応容器などの専用プラスチック消耗品などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品類は当社から購入する契約となっております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高275百万円（前年同期比24.3%増）となりました。営業費用は265百万円（前年同期比20.7%増）となり、営業利益9百万円（前年同期比602.0%増）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ（交換部品）販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高85百万円（前年同期比13.3%増）となりました。営業費用は80百万円（前年同期比13.4%増）となり、営業利益4百万円（前年同期比10.5%増）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス㈱が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第1四半期連結累計期間は、売上高71百万円(前年同期比7.1%増)となりました。営業費用は60百万円(前年同期比8.9%増)となり、営業利益11百万円(前年同期比1.8%減)となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス㈱の収益確保のための事業となっています。

⑤ その他

当区分は、上記①～④のいずれにも該当しない売上を区分しています。主には、PSSキャピタル㈱とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業の区分であります。

当第1四半期連結累計期間は、売上高はなく(前年同期は売上高1百万円)、営業費用は0百万円(前年同期比92.3%減)となり、営業損失△0百万円(前年同期は営業損失△3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,341百万円となり、前連結会計年度末に比べて956百万円の減少となりました。配当金や未払法人税を支払った影響などから、現金及び預金が671百万円減少した他、受取手形及び売掛金が158百万円減少、未収還付消費税等の減少などにより、その他流動資産が139百万円減少いたしました。

負債合計は2,309百万円となり、前連結会計年度末に比べて663百万円の減少となりました。未払法人税等が662百万円減少した他、短期借入金が300百万円増加、長期借入金が123百万円減少、その他流動負債が164百万円減少いたしました。

純資産合計は4,032百万円となり、前連結会計年度末に比べて292百万円の減少となりました。四半期純損失△163百万円の発生と期末配当136百万円の実施により利益剰余金が299百万円減少した他、為替換算調整勘定が8百万円増加、少数株主持分が2百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、当初の業績予想の範囲内で売上高、利益ともに推移いたしました。今後の見通しも大きな変更はないため、業績見通しに特段の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,103,317	2,432,094
受取手形及び売掛金	962,980	804,061
商品及び製品	772,808	836,301
仕掛品	201,618	158,818
原材料及び貯蔵品	113,397	144,227
繰延税金資産	7,225	3,283
その他	435,644	295,742
貸倒引当金	△1,359	△1,175
流動資産合計	5,595,632	4,673,354
固定資産		
有形固定資産	1,574,222	1,540,772
無形固定資産	69,624	64,488
投資その他の資産	59,266	63,339
固定資産合計	1,703,112	1,668,600
資産合計	7,298,745	6,341,955
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476,509	464,937
短期借入金	-	300,000
1年内返済予定の長期借入金	588,109	549,827
リース債務	2,654	2,658
未払法人税等	675,617	12,743
賞与引当金	6,608	43,152
その他	442,845	278,843
流動負債合計	2,192,345	1,652,162
固定負債		
長期借入金	665,704	541,965
リース債務	5,884	4,978
繰延税金負債	50,380	50,473
退職給付に係る負債	59,396	60,325
その他	26	10
固定負債合計	781,391	657,752
負債合計	2,973,736	2,309,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,217,194	2,217,194
資本剰余金	251,999	251,999
利益剰余金	1,567,688	1,267,711
株主資本合計	4,036,881	3,736,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	988
為替換算調整勘定	△17,423	△9,054
その他の包括利益累計額合計	△17,423	△8,066
少数株主持分	305,550	303,201
純資産合計	4,325,008	4,032,040
負債純資産合計	7,298,745	6,341,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	911,573	1,104,212
売上原価	602,259	729,391
売上総利益	309,313	374,820
販売費及び一般管理費	441,751	568,479
営業損失(△)	△132,437	△193,658
営業外収益		
受取利息	126	147
為替差益	7,639	36,222
還付消費税等	37,706	—
その他	1,656	4,833
営業外収益合計	47,128	41,203
営業外費用		
支払利息	4,622	4,052
その他	158	—
営業外費用合計	4,780	4,052
経常損失(△)	△90,089	△156,507
特別利益		
固定資産売却益	540	—
投資有価証券売却益	3,822,683	—
特別利益合計	3,823,223	—
特別損失		
固定資産除却損	56	11
減損損失	—	4,221
特別損失合計	56	4,233
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	3,733,076	△160,741
法人税、住民税及び事業税	715,479	2,691
法人税等調整額	457,364	3,472
法人税等合計	1,172,843	6,163
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,560,233	△166,904
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,220,855	△3,817
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,339,377	△163,086

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,560,233	△166,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,500,651	2,517
為替換算調整勘定	11,402	8,369
その他の包括利益合計	△3,489,249	10,886
四半期包括利益	△929,015	△156,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,638	△153,729
少数株主に係る四半期包括利益	△938,654	△2,288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	546,782	221,576	75,047	66,888	910,294	1,278	911,573	—	911,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	546,782	221,576	75,047	66,888	910,294	1,278	911,573	—	911,573
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△17,750	1,359	3,790	11,334	△1,265	△3,899	△5,164	△127,273	△132,437

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含ん
でおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△127,273千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っており
ます。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	672,152	275,409	85,004	71,645	1,104,212	—	1,104,212	—	1,104,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	672,152	275,409	85,004	71,645	1,104,212	—	1,104,212	—	1,104,212
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	45,962	9,543	4,189	11,125	70,820	△397	70,422	△264,081	△193,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャー
ファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△264,081千円は、各報告セグメントに帰属しない全社
費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っており
ます。